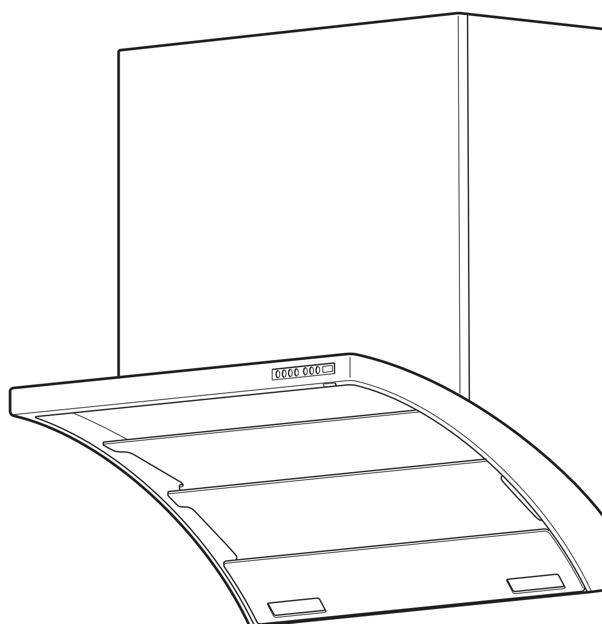
取扱説明書

HITACHI
Inspire the Next

日立レンジ用フードファン

HQ-91SS・HQ-76SS形　台所用



このたびは日立レンジ用フードファンをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
このレンジ用フードファンは家庭用です。業務用や換気以外の目的にはご使用にならないでください。
この取扱説明書・据付説明書をよくお読みになり、正しくご使用ください。
お読みになったあとは、据付説明書とともに大切に保存してください。

もくじ

安全上のご注意

ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

★ここに示した注記事項は

表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

⚠ 警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負うことが想定される」内容です。
⚠ 注意	この表示の欄は、「傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される」内容です。

絵表示の例

⚠	「警告や注意を促す」内容のものです。
🛇	してはいけない「禁止」内容のものです。
❗	必ず実行していただく「指示」内容のものです。

⚠ 警　告

感電の恐れあり

- 電球を交換するときは必ず電源プラグを抜いてから行ってください。または、分電盤のブレーカーを切って行ってください。

修理技術者以外の人は絶対に分解したり、修理・改造しない

- 発火したり、異常動作してけがをすることがあります。

お手入れの際は、必ず電源プラグを抜く。または分電盤のブレーカーを切って行う。また、ぬれた手で抜き差ししない

- 感電やけがをすることがあります。

水につけたり、水をかけたりしない

- ショート・感電の恐れがあります。

本体各部に直接水やお湯、かび取り剤などをかけない

- ショート・感電の原因になります。

電源プラグは、刃および刃の取り付け面にほこりが付着している場合はよくふく

- 火災の原因になります。

電球を交換するときは、必ず電源プラグを抜く。または分電盤のブレーカーを切って行う。

- 抜かずに作業すると感電することがあります。

ガス漏れの恐れがある場合は、換気扇を使用しない

- 爆発・引火の恐れがあります。

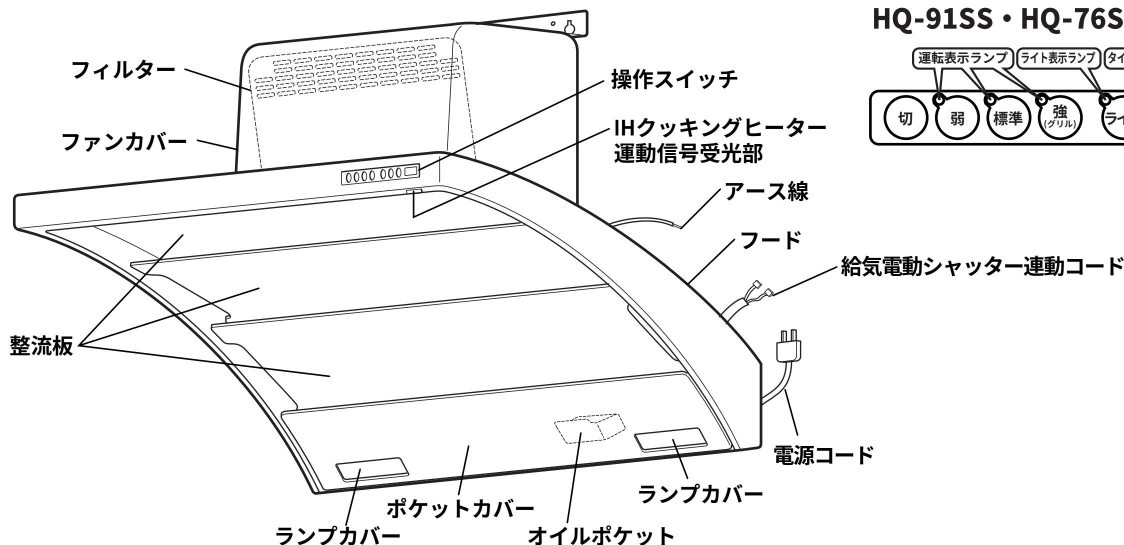
交流100V以外では使用しない

- 火災・感電の原因になります。

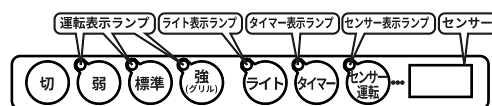
⚠ 注　意

やけどの恐れあり	けがの恐れあり
●指定以外の電球を使用しないでください。	●お手入れの際は厚手の手袋をお使いください。
電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って抜く ●感電やショートして発火することがあります。	**長期間ご使用にならないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く** ●絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります。
ファンや部品の取り付けは確実に行う ●落下によりけがをする恐れがあります。	**運転中は危険ですから羽根の中に指や物を入れない** ●けがの恐れがあります。
お手入れの際は厚手の手袋を着用する ●板金の切り口、本体の突起および角などでけがをする恐れがあります。	**本体に異常な振動が発生した場合、使用しない** ●本体、部品の落下によりけがをする恐れがあります。
指定以外の電球を使用しない ●ランプ部分が高熱となり、やけどをする恐れがあります。	**フードの上に物を置かない** ●落下によりけがをする恐れがあります。
電球の交換は電球が冷めてから行う ●やけどをする恐れがあります。	**お手入れの際は、部品が冷めてから行う** ●やけどをする恐れがあります。

各部のなまえ



HQ-91SS・HQ-76SS操作スイッチ表示



使いかた

⚠ 注　意

 **運転中は危険ですからファンの中に指や物を入れない** ●けがの恐れがあります。	 **フードに寄りかかるなど無理な負荷はかけない** ●故障の原因になります。

ご注意

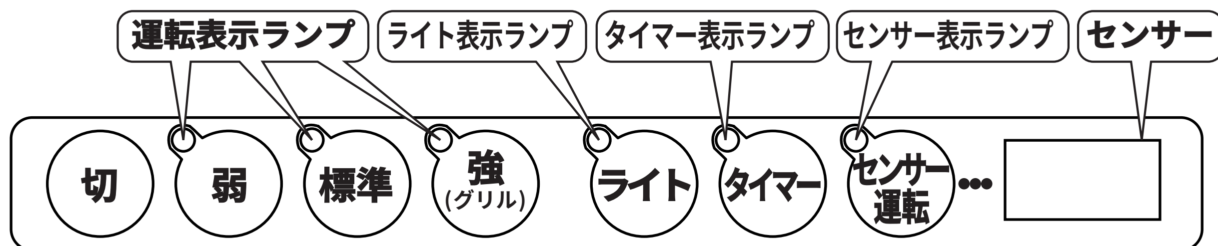
●調理機器を使用するときは、必ずレンジ用フードを運転してください。 運転しないとフード内の温度が上がり、製品の損傷や高熱による故障の原因となります。	**●調理中は給気を行ってください。** レンジ用フードの反対側の壁に空気の取入口を設けるか、部屋の扉を少し開けてください。空気の取り入れが不十分ですと換気性能が低下します。
●調理機器の空だきは絶対にしないでください。 製品の損傷や高熱による故障の原因となります。 **●IHクッキングヒーター(電気調理機器)使用時、フードがあたたまりにくいため、結露(水滴)が生じることがあります。その場合は、滴下する前に拭き取ってご使用ください。**	**●湯沸器はレンジ用フードから50cm以上離してください。** ガス湯沸器周辺はかなり高温になるので50cm以上離してください。 湯沸器の上部には絶対にレンジ用フードを取り付けないでください。製品の損傷や高熱による故障の原因となります。
●フィルターに市販の繊維フィルターなどを重ねて使用しないでください。 地域によっては火災予防条例で金属性のフィルターの使用が義務づけられています。 また、風量低下の原因となります。	**●レンジ用フード使用時、横風が当たらないようにしてください。** 横風の影響を受けると吸い込みが悪くなることがあります。
●IHクッキングヒーター(電気調理機器)使用時、結露水がオイルポケットにたまる場合があります。こまめに水を捨ててください。	**●性能を維持するために専用のフィルターをご使用ください。** 吸い込みが悪くなります。

●塗装の変質、変色、はがれ防止のため下記のものは使わないでください。

・アルカリ性洗剤　・弱アルカリ性洗剤　・シンナー　・ベンジン
・アルコール　・クレンザー　・金属タワシ

使いかた(続き)

操作スイッチの使いかた



切 切スイッチ	■運転中に 切 スイッチを押すと、運転が停止します。 もう一度押すと照明も消えます。 ■約3秒間押し続けると「ピーッ」と音がしてすべてのスイッチが「ロック」されます。 同時に羽根は停止し、照明は消灯されます。この状態では 切 以外のスイッチを押しても「ピピッ」と警告が鳴り、運転、照明点灯はしません。 **お願い** お手入れや電球交換の際は必ず分電盤のブレーカーを切ってください。 ■「ロック」を解除するには、もう一度「ピッ」と音がするまで 切 スイッチを約3秒間押し続けます。
弱 弱運転スイッチ	■ 弱 スイッチを押すと、「弱」運転をします。 ●煙が少ないとき。静かに運転したいとき。
標準 標準運転スイッチ	■ 標準 スイッチを押すと、「標準」運転をします。 ●通常の運転のとき。
強(グリル) 強(グリル)運転スイッチ	■ 強(グリル) スイッチを押すと、「強(グリル)」運転をします。 ●煙が多いとき。早く換気したいとき。
ライト 照明スイッチ	■押すごとに、照明が「点灯」「消灯」を繰り返します。
タイマー 3分後切りタイマースイッチ	■運転中に タイマー スイッチを押すと、そのままの風量で約3分間運転した後、自動的に運転を停止します。照明が点灯している場合は、照明も消えます。 **上手な使いかた** 通常、調理が終わった後は、タイマー スイッチを押してください。約3分間のタイマー運転により、調理の後のにおいや水滴の付着を防ぎます。
センサー運転 ••• センサー センサー運転スイッチ　センサー サッ	■ センサー運転 スイッチを押すと、表示ランプが点灯しセンサーが「受付」の状態になります。 ■センサー「受付」状態のとき、センサー部分に手をかざすと最後に運転を停止したときの風速で運転します。 ■もう一度センサー部分に手をかざすと運転が停止し、照明も消えます。 ※風速切替は 弱 標準 強(グリル) スイッチを押してください。 ■もう一度 センサー運転 スイッチを押すとセンサー運転の表示ランプが消え、センサーによる運転はできなくなります。 **上手な使いかた** レンジ用フードにさわらないで運転、停止ができるので、手がぬれていたり汚れているときでも簡単に換気ができます。

※最後に運転を停止したときに照明が点灯していた場合は、照明も点灯します。

使いかた(続き)

調理機器(IHクッキングヒーターなど)との連動運転について

■レンジ用フードファンと連動可能な調理機器を組み合わせてご使用になる場合、以下のような運転をします。

日立製IHクッキングヒーター(グリルモード運転の信号発信機種　型式：HT-A9TWFSなど)との組み合わせ

●トッププレートのヒーター使用時は、自動で「標準」運転をします。
●グリル使用時は、自動で「強(グリル)」運転をします。
●調理機器の運転を停止すると、ファンは約3分後に自動で停止します。
約3分間の運転により調理後のにおいや水滴の付着を防ぎます。
●ファンの運転切替と照明の入／切の操作は調理機器のスイッチ操作部でも行えます。
(詳細については調理機器の取扱説明書をご覧ください。)

日立製IHクッキングヒーター(従来機種 型式：HTW-4DDSFなど)との組み合わせ

●トッププレートのヒーター使用時、グリル使用時ともに、自動で「標準」運転をします。
●調理機器の運転を停止すると、ファンは約3分後に自動で停止します。
約3分間の運転により調理後のにおいや水滴の付着を防ぎます。
●ファンの運転切替と照明の入／切の操作は調理機器のスイッチ操作部でも行えます。
(詳細については調理機器の取扱説明書をご覧ください。)

運転中に調理機器を操作した場合

●「標準」運転または「弱」運転中、IHクッキングヒーターを操作したときに運転中の風量よりも大きくなる信号を受信(グリル運転など)すると、風量が切り替わります。(風量が小さくなる信号は受け付けません。)　ただし、連動運転にてトッププレートのヒーターとグリルを同時にご使用の場合、グリル運転がトッププレートのヒーターより先に運転を停止すると「強(グリル)」運転から「標準」運転に切り替わります。また、切(運転停止)の信号は受け付けます。
●風量(運転)を変えたいとき、または停止させたいときは、本体のスイッチ操作を行なってください。
(ただし、調理機器の運転が停止すると、ファンは約3分後に自動で停止します。)

連動運転機能の変更について

■レンジフードファンの連動運転機能を変更することができます。
※工場出荷時は、連動運転状態になっています。

調理機器の連動機能解除

●調理機器と連動しないようにすることができます。
レンジフード待機状態で(切)スイッチを押しながら(センサー運転)スイッチを押すと(弱)(標準)(強(グリル))の表示ランプが点灯し、そのまま約3秒間押し続けると、ピーとブザー音が鳴り(ライト)(タイマー)(センサー運転)の表示ランプが点灯し、連動OFF状態となります。
●連動状態に戻す場合は、もう一度(切)スイッチを押しながら(センサー運転)スイッチを押すと(ライト)(タイマー)(センサー運転)の表示ランプが点灯し、そのまま約3秒間押し続けると、ピーとブザー音が鳴り(弱)(標準)(強(グリル))の 表示ランプが点灯し、連動状態になります。

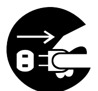
連動運転機能を正しくお使いいただくには

■ご使用条件によっては、調理機器からの信号を受信できず、連動機能が正常に動作しないことがあります。その場合は、本体の操作スイッチにより運転してください。

●信号受信部に太陽の光が当たったり、信号受信部と照明機器が近づきすぎる場合
●調理機器の信号送信部がなべなどにより、隠れている場合
●レンジ用フードの信号受信部および調理機器の信号送信部が油分などで汚れている場合
●他社製IHクッキングヒーターとの組み合わせの場合

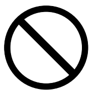
お手入れのしかた

⚠ 警　告



お手入れの際は、必ず電源プラグを抜く。または分電盤のブレーカーを切って行う。また、ぬれた手で抜き差ししない

●感電やけがをすることがあります。



本体各部に直接水やお湯、かび取り剤などをかけない

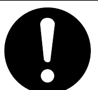
●ショート・感電の恐れがあります。



水につけたり、水をかけたりしない

●ショート・感電の恐れがあります。

⚠ 注　意



お手入れの際は厚手の手袋を着用する

●板金の切り口、本体の突起および角などでけがをする恐れがあります。



ファンや部品の取り付けは確実に行う

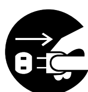
●落下によりけがをする恐れがあります。

ご注意

- **板金部品などの切り口や本体の突起・角などでけがをしないよう、厚手の手袋を使用してください。**
- **モーターなどの電気部品に水をかけないようにしてください。**
  故障や感電の恐れがあります。
- **アルカリ性洗剤・弱アルカリ性洗剤・酸性洗剤・シンナー・ベンジン・アルコール・灯油・みがき粉・金属タワシ・研磨剤入りタワシ・亀の子タワシなどは使用しないでください。**
  パネルなどのプラスチックが変形・変色します。
- **化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。**

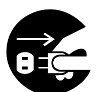
1. 電球交換のしかた

⚠ 警　告



電球を交換するときは、必ず電源プラグを抜く。または分電盤のブレーカーを切って行う

●抜かずに作業すると感電することがあります。



お手入れの際は、必ず電源プラグを抜く。または分電盤のブレーカーを切って行う。また、ぬれた手で抜き差ししない

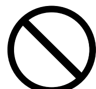
●感電やけがをすることがあります。

⚠ 注　意



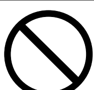
お手入れの際は、厚手の手袋を着用する

●板金の切り口、本体の突起および角などでけがをする恐れがあります。



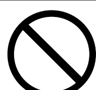
指定以外の電球を使用しない

●ランプ部分が高熱となり、やけどをする恐れがあります。



電球の交換は電球が冷めてから行う

●やけどをする恐れがあります。



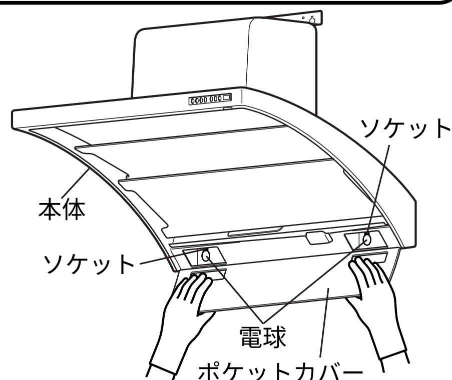
お手入れの際は、部品が冷めてから行う

●やけどをする恐れがあります。

ご使用中の電球が切れた場合には、口金E17,ミニ電球(定格100V 40W形)とご指定のうえ、電気店などで購入し、交換してください。

■電球の交換方法

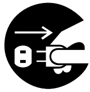
(1) 本体のポケットカバー両端を両手で持って、手前に開けます。
(2) 切れた電球を取り外し、ソケットに新しい電球を確実に固定します。
(3) ポケットカバーの両端を両手で持って本体に取り付けます。



お手入れのしかた(続き)

2. 分解・組み立てのしかた

⚠ 警　告



お手入れの際は、必ず電源プラグを抜く。または分電盤のブレーカーを切って行う。また、ぬれた手で抜き差ししない

●感電やけがをすることがあります。

⚠ 注　意



ファンや部品の取り付けは確実に行う

●落下によりけがをする恐れがあります。



お手入れの際は、厚手の手袋を着用する

●板金の切り口、本体の突起および角などでけがをする恐れがあります。



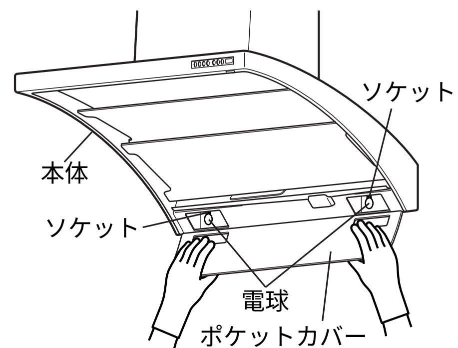
お手入れの際は、部品が冷めてから行う

●やけどをする恐れがあります。

・**分解のしかた**　((1)〜(6)の手順で分解します。)

(1) ポケットカバーの着脱

●本体のポケットカバー両端を両手で持って、手前に開けます。



⚠ 注　意

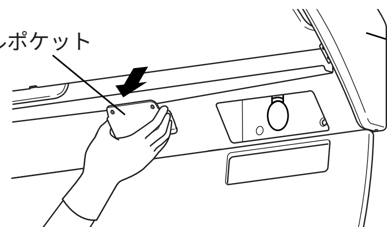


オイルポケットの取り付けは確実に行う

●落下によりけがをする恐れがあります。
●落下によりオイルポケットが割れる恐れがあります。
また、落下により割れたガラスでけがをする恐れがあります。

(2) オイルポケットの着脱

●オイルポケットを手で持って、手前に引き外します。



お手入れのしかた(続き)

(3) 整流板の着脱

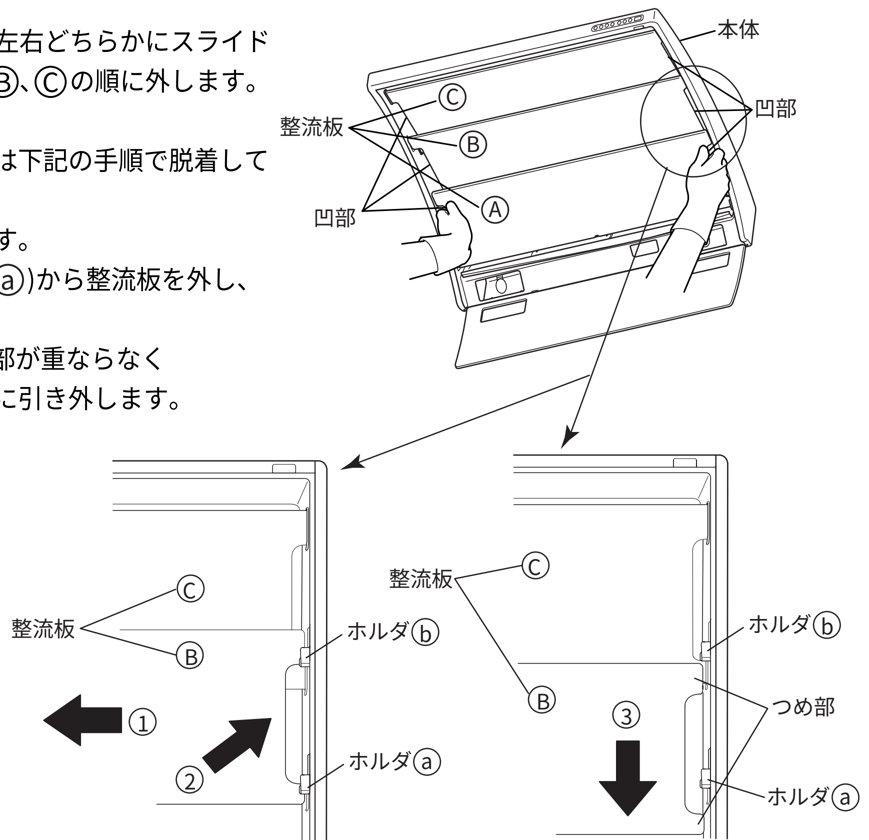
●整流板の両端凹部を両手で持ち、左右どちらかにスライドさせ、引き外してください。Ⓐ、Ⓑ、Ⓒの順に外します。

ただし、Ⓑ、Ⓐの整流板については下記の手順で脱着してください。

①左右どちらかにスライドさせます。

②ホルダ ⓑ (Ⓐ の場合はホルダ ⓐ)から整流板を外し、本体側へ押します。

③ホルダ ⓐ, ⓑ に整流板のつめ部が重ならなくなるように下方へずらし、手前に引き外します。



⚠ 注　意



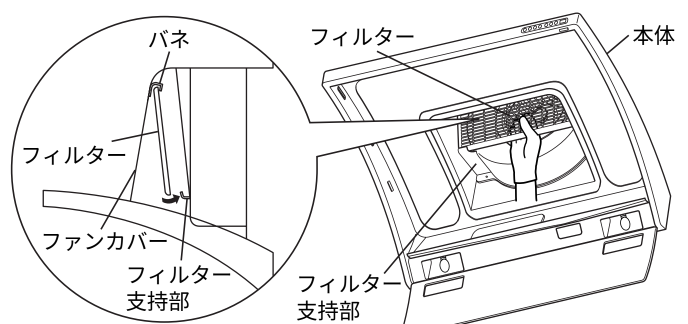
部品の取り付けは確実に行う

● 整流板の落下によりけがをする恐れがあります。

(4) フィルターの着脱

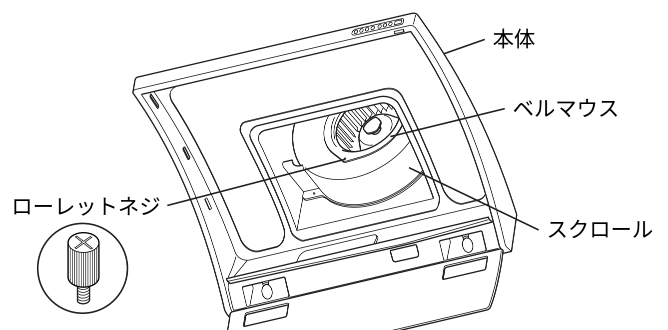
●フィルター下部を手で持ち、一度上に持ち上げ、フィルター支持部より外して、フィルターを手前に外してください。

●フィルターはバネに押し当てながら、フィルター支持部に取り付けてください。



(5) ベルマウスの着脱

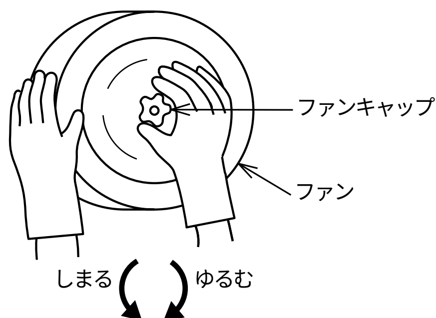
●ベルマウスのローレットネジ(3ケ所)をゆるめて取り外します。



お手入れのしかた(続き)

(6) ファンの着脱

●ファンを押さえ、ファンキャップを時計方向に回して外した後、ファンを手前に引き、モーター軸から外します。



ご注意

ファンをぶつけたり、落としたり変形させないでください。

⚠ 注　意



お手入れの際は、厚手の手袋を着用する

●ファンの切り口、本体の突起などでけがをする恐れがあります。

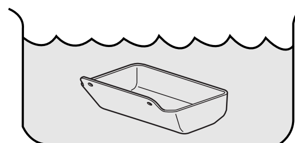
・組み立てかた

分解と逆の手順(6〜1順番)で組み立てます。

3. お手入れのしかた

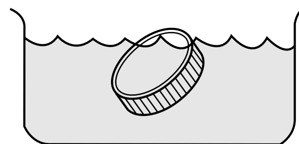
■オイルポケット

油分がたまりましたら、本体から外して、中性洗剤を溶かしたぬるま湯につけて洗ってください。
汚れを落としたあと、洗剤が残らないように水洗いし、水気をとってから取り付けてください。



■ファン、整流板、ベルマウス

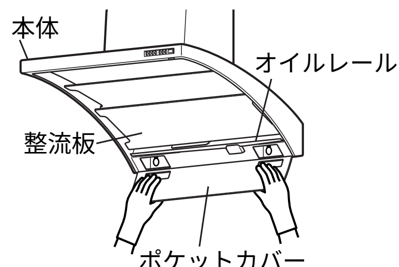
本体から外して、中性洗剤を溶かしたぬるま湯につけて洗ってください。
汚れを落としたあと、洗剤が残らないように水洗いし、水気をとってから取り付けてください。



■本体(本体のオイルレールおよび整流板)

●オイルレールにも油が付着しますので、カバーを開けてオイルレールの内側と下側を中性洗剤溶液に浸した布でよくふきとってください。

●整流板の裏面にも油が付着しますので、整流板を取り外し整流板の裏面の油汚れを中性洗剤溶液に浸した布でよくふきとるか、または、整流板を中性洗剤を溶かしたぬるま湯につけて洗ってください。
汚れを落とした後、洗剤が残らないように水洗いし水気をとってから取り付けてください。



故障かなと思ったら

修理を依頼される前に　　次の点をもう一度お調べください。

症　状	点検するところ
運転しない	● ブレーカーが切れていませんか。 ※調理機器と別配線になっている場合があり、調理機器が動作してもレンジ用フードファン用のブレーカーが切れている場合があります。 ● 電源プラグがコンセントにしっかり差し込まれていますか。 ● 停電していませんか。
操作スイッチが動作しない	● 本体のスイッチが「ロック」状態になっていませんか。 ※(切)スイッチを「ピッ」と音がするまで約3秒間押し続けると「ロック」状態が解除されます。
振動・騒音が大きくなった	● ファン固定用ファンキャップがゆるんでいませんか。 ● ファンの汚れが多くなっていませんか。

アフターサービス(必ずお読みください)

補修用性能部品の保有期間

換気扇の補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後6年です。
補修用性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。

ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談ならびに不明な点は、お買い上げの販売店または本ページの「ご相談窓口」にお問い合わせください。

修理を依頼されるときは　出張修理

10ページに従って調べていただき、なお異常のあるときは、ご使用を中止し、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

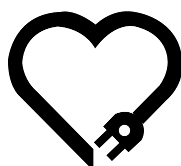
ご連絡していただきたい内容

品　名	レンジ用フードファン
形　名	
お買い上げ日	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご住所	付近の目印なども併せてお知らせください。
お名前	
電話番号	
訪問ご希望日	

修理料金の仕組み

技術料	診断、部品交換、調整、修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器などの設備費、一般管理費などが含まれます。
+	
部品代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材などを含む場合もあります。
+	
出張料	商品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

愛情点検



★長年ご使用の換気扇の点検を

ご使用の際、このような症状はありませんか？

- スイッチを入れても動かないときがある。
- 運転中に異常な音や振動がする。
- 焦げ臭いにおいがする。
- その他、異常・故障がある。



ご使用中止　このような症状のときは、故障や事故防止のため、電源を切り、必ず販売店に点検・修理をご相談ください。

日立家電品についてのご相談や修理はお買上げの販売店へ

なお、転居されたり、贈物でいただいたものの修理などで、ご不明な点は下記窓口にご相談ください。

修理などアフターサービスに関するご相談はエコーセンターへ

TEL　0120-3121-68
FAX　0120-3121-87
(受付時間)
9:00～19:00(365日)

商品情報やお取り扱いについてのご相談はお客様相談センターへ

TEL　0120-3121-11
FAX　0120-3121-34
(受付時間) 9:00～17:30 (月～土)、9:00～17:00 (日・祝日)
年末年始は休ませていただきます。
携帯電話、PHSからもご利用できます。

日立家電品の長期使用についてのご相談は、日立長期使用家電品相談窓口へ

TEL　0120-145-458
(受付時間) 9:00～17:30(月～金)
土、日、祝日および、年末年始は休ませていただきます。携帯電話、PHSからもご利用できます。

- 「持込修理」および「部品購入」については、上記サービス窓口にて各地区のサービスセンターをご紹介させていただきます。
- お客様が弊社にお電話いただいた場合には、正確にご回答するために、通話内容を記録(録音など)させていただくことがあります。
- ご相談、ご依頼いただいた内容によっては弊社のグループ会社に個人情報を提供し対応させていただくことがあります。
- 修理をご依頼いただいたお客様へ、アフターサービスに関するアンケートハガキを送付させていただくことがあります。

アフターサービス(続き)

ご注意

このレンジ用フードファンは、家庭用です。また、24時間換気対応商品ではありません。
業務用として使用したり、長時間連続でご使用になると短期間で故障する可能性があります。その場合は、お買い上げの販売店にご相談のうえ、定期的な点検を受けてお使いになることをお勧めします。
● このようなご使用は、保証の対象外となります。

長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について

(本体への表示内容)

※経年劣化により危害の発生が高まるおそれがあることを注意喚起するために電気用品安全法で義務付けられた以下の内容の表示を本体に行っています。

	【製造年】本体に西暦4ケタで表示してあります 【設計上の標準使用期間】10年 設計上の標準使用期間を超えてお使いいただいた場合は、経年劣化による発火・けが等の事故に至るおそれがあります。

(設計上の標準使用期間とは)

※運転時間や温湿度など、標準的な使用条件に基づく経年劣化に対して、製造した年から安全上支障なく使用することができる標準的な期間です。

※設計上の標準使用期間は、無償保証期間とは異なります。また、偶発的な故障を保証するものでもありません。

■標準使用条件

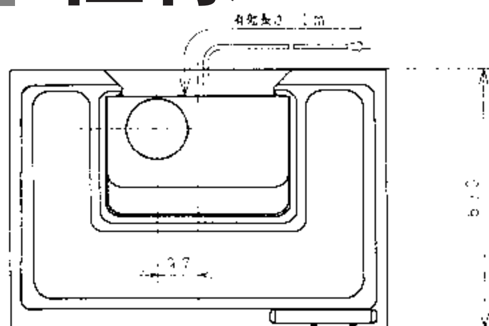
(社)日本電機工業会自主基準 HD-116-4による

環境条件	電圧	単相100V	
	周波数	50Hz 又は／ 及び 60Hz	
	温度	20℃	
	湿度	65%	
	設置条件	標準設置	製品の据付説明書による
負荷条件		定格負荷(換気量)	製品の取扱説明書による
想定時間	1年間の使用時間	換気時間 a)	
		台　所　2 410 時間	
		居　室　2 193 時間	
		トイレ　2 614 時間	
		浴　室　1 671 時間	
注記 温度20℃、湿度65%は、JIS C 9603の試験状態を参考としている。			
注 a) 常時換気(24 時間連続換気)のものは、8 760 時間/年とする。			

●「経年劣化とは」

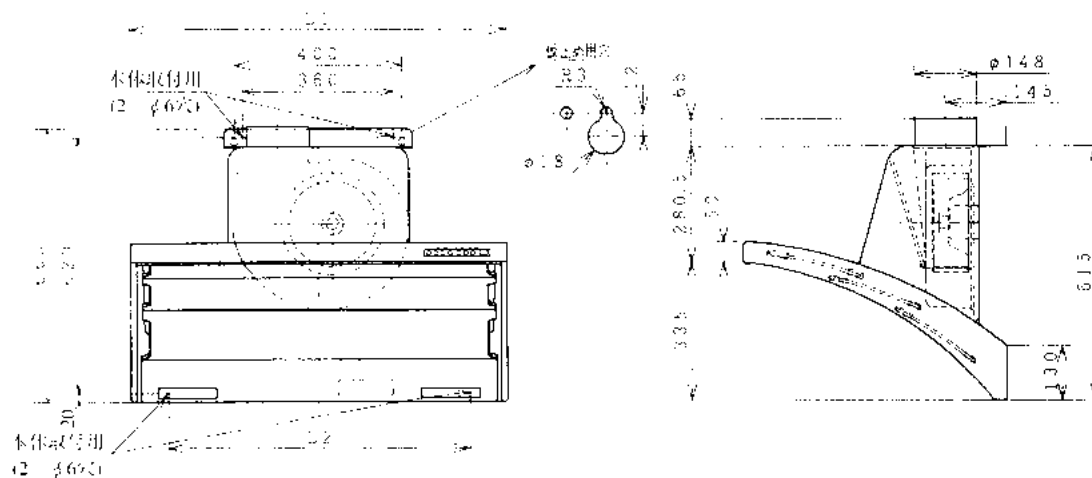
長期間にわたる使用や放置に伴い生ずる劣化をいいます。

仕様

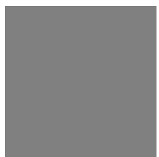


形　式	L1	L2
HQ-91SS	900	720
HQ-76SS	750	570

単位：mm



形　　　　　名		HQ-91SS	HQ-76SS
電　　　　　源		100V　50/60Hz共用	
消費電力(W)	強(グリル)	95/95	
	標準	70/70	
	弱	50/50	
風　量 (m³/h)	強(グリル)	610/610	
	標準	350/350	
	弱	200/200	
質　　　　量 (kg)		23.0	20.5



メモ





お客様メモ

後日のために記入しておいてください。
サービスを依頼されるとき、お役に立ちます。

購入店名	**電話（　　　）　-**	
ご購入年月日	**平成　　年　　月　　日**	

日立アプライアンス株式会社
〒105-8410　東京都港区西新橋2-15-12
電話(03)3502-2111

株式会社　日立産機システム
〒101-0022　東京都千代田区神田練塀町3番地AKSビル
電話(03)4345-6000(代)

日立ライティング株式会社
〒101-0041　東京都千代田区神田須田町2-5-2
電話(03)3255-5255

3-J8550-7B

C9(H)